

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 12 巻第 36 号

第 36 週 (9 月 3 日 ~ 9 月 9 日)

発行年月日:平成24年(2012年) 9月12日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆RSウイルス感染症は増加傾向

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第36週)

- ・一類感染症――報告はありません
- ・二類感染症――**結核 8名**
- ・三類感染症――報告はありません
- ・四類感染症――報告はありません
- ・五類感染症――報告はありません

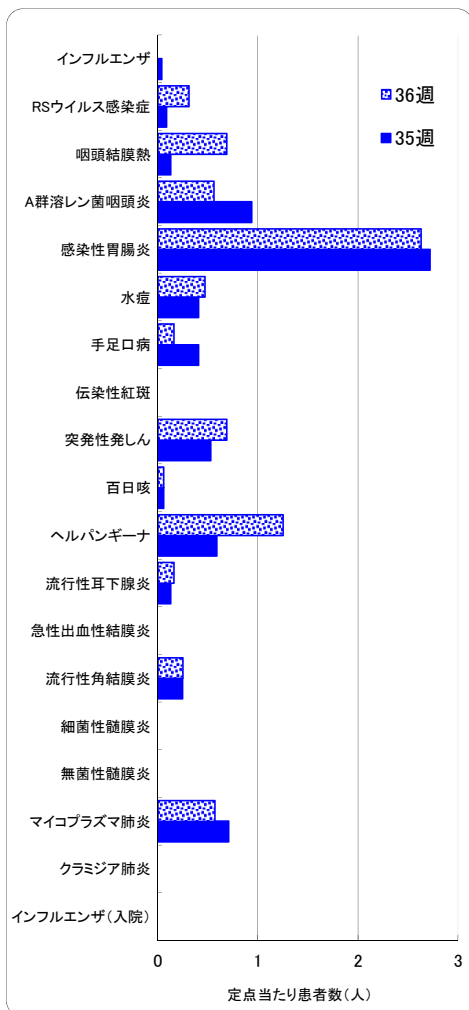
★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(201)より増加し、今週は229名となっています。今週、増加した疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナ等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、手足口病等です。特に、RSウイルス感染症で先週の約3倍増、咽頭結膜熱(プール熱)で先週の約5倍増およびヘルパンギーナで先週の約2倍増となっています(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

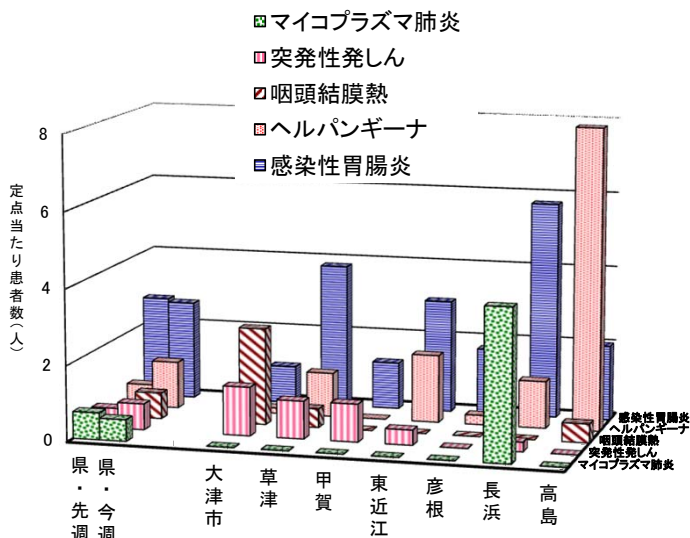
また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警 報―― ヘルパンギーナ (警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00) 高島保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況(第36週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②ヘルパンギーナ、③咽頭結膜熱、④突発性発しん、⑤マイコプラズマ肺炎の順に多くなっています。

感染性胃腸炎―――県全体では先週より微減となっていますが、草津、長浜および高島では先週より増加しています。

ヘルパンギーナ―――大津市および甲賀以外で先週より増加しています。特に、高島では先週よりさらに増加し、警報終息基準値を超えた状態が続いています。

咽頭結膜熱―――大津市で急増し、先週の9倍増となっています。県全体の年齢別発生割合は、2～5歳で全体の約80%を占めています。

マイコプラズマ肺炎―――長浜からの報告が多くなっています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成24年 累積報告数		平成23年 累積報告数 ^(※1)		平成22年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (36週)	全 国 ^(※3) (35 週 ^注)	滋 賀	全 国 ^(※3)	滋 賀	全 国 ^(※3)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	199	19,511	338	31,467	251	26,866
三 類 感 染 症	コレラ	0	3	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	143	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	32	2,412	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	12	0	23	1	21
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	85	0	61	0	66
	A型肝炎	1	122	0	176	3	347
	オウム病	0	5	0	13	1	11
	つつが虫病	1	195	1	461	2	407
	デング熱	1	115	1	104	2	244
	マラリア	2	52	0	78	0	73
	レジオネラ症	6	552	12	819	10	751
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	10	579	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	0	142	1	249	3	221
	急性脳炎	3	266	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	118	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	172	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	4	924	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	45	1	68	1	77
	梅毒	0	573	6	827	9	621
	破傷風	0	72	1	114	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	61	0	73	2	120
	風しん	12	1,419	2	374	5	87
	麻しん	1	234	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

注：36週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

※1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

※2：感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第31週～36週、7/30～9/9)

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数 (↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少)											
			31週	32週	33週	34週	35週	36週	週					
			7/30 ~	8/6 ~	8/13 ~	8/20 ~	8/27 ~	9/3 ~	32	33	34	35	36	
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.02	0	0	0.06	0.04	0	↓	→	↑		↓	↓
小児科	32	RSウイルス感染症	0	0	0.03	0.09	0.09	0.31	→	↑	↑		→	↑
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.38	0.66	0.19	0.28	0.13	0.69	↑	↓	↑		↓	↑
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0.94	0.66	0.97	0.94	0.56	↑	↓	↑		↓	↓
		感染性胃腸炎	2.75	3.75	3.22	2.56	2.72	2.63	↑	↓	↓	↑		↓
		水痘	0.97	0.69	0.66	0.44	0.41	0.47	↓	↓	↓	↓	↑	
		手足口病	0.66	0.44	0.34	0.19	0.41	0.16	↓	↓	↓	↑		↓
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.03	0	0	0	→	↑	↓	→	→	
		突発性発しん	0.84	0.91	0.50	0.53	0.53	0.69	↑	↓	↑	→	↑	
		百日咳	0.13	0.03	0.03	0.06	0.06	0.06	↓	→	↑	→	→	
		ヘルパンギーナ	4.72	3.19	1.59	1.03	0.59	1.25	↓	↓	↓	↓	↑	
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.09	0.22	0.41	0.22	0.13	0.16	↑	↑	↓	↓	↑	
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	
		流行性角結膜炎	0.25	0.25	1.50	0.25	0.25	0.25	0.25	→	↑	↓	→	→
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.43	0.14	0.57	0.71	0.71	0.57	0.57	↓	↑	↑	→	↓
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ(入院)*	0	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

※：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

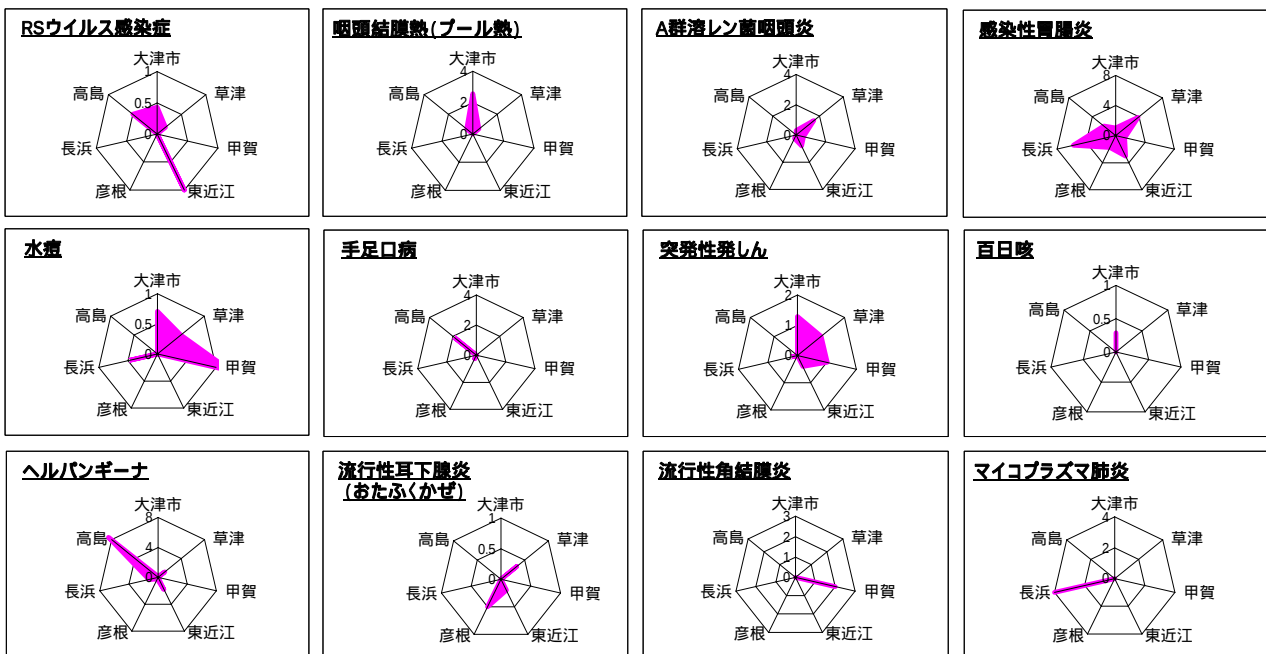
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第36週、9/3～9/9)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.31	0.43	0.17	0	1.00	0	0	0.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.69	2.57	0.50	0	0	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.29	1.50	0.50	0.80	0.25	0	0	
感染性胃腸炎	2.63	1.00	3.83	1.25	3.00	1.75	5.75	2.00	
水痘	0.47	0.71	0.50	1.25	0	0	0.50	0	
手足口病	0.16	0	0	0	0	0.25	0	2.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.69	1.29	1.00	1.00	0.40	0	0.25	0	
百日咳	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.25	0.14	1.17	0	1.80	0.25	1.25	8.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0	0.33	0	0.20	0.50	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	2.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	0	0	4.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 1 2 3
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

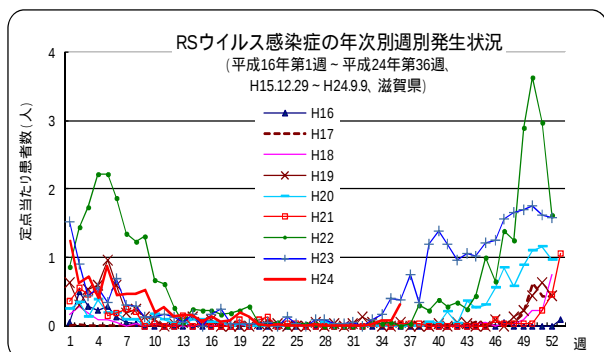
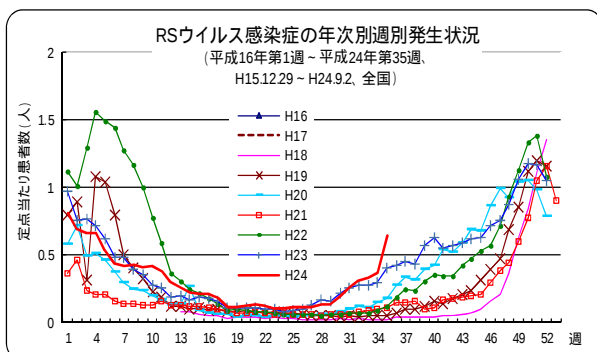
RSウイルス感染症-----第34週(8/20～8/26)以降報告数が徐々に多くなり、今週は先週の3倍増となっています。また、週別の発生状況(下記グラフ参照)では全国、滋賀県ともに、年々流行の時期が早まっていますので、今後の発生動向に注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎-----草津保健所管内では、第32週(8/6～8/12)以降多い状態が続いていましたが、今週は先週の約1/2に減少しています。

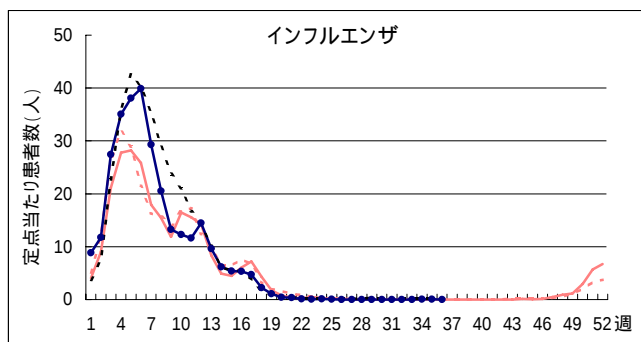
百日咳-----先週と同様、大津市保健所管内からの報告で、年齢は6歳以下です。

手足口病-----高島保健所管内では先週より半減し、定点当たり患者数は2.00となっています。

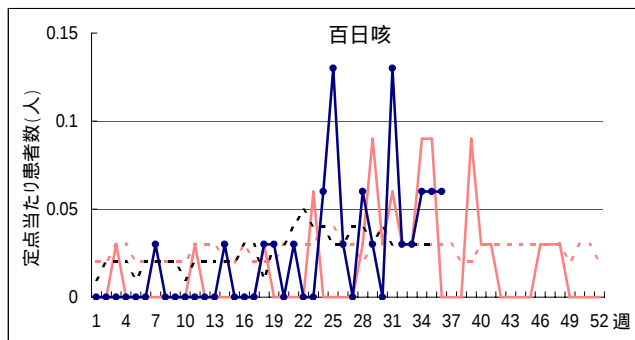
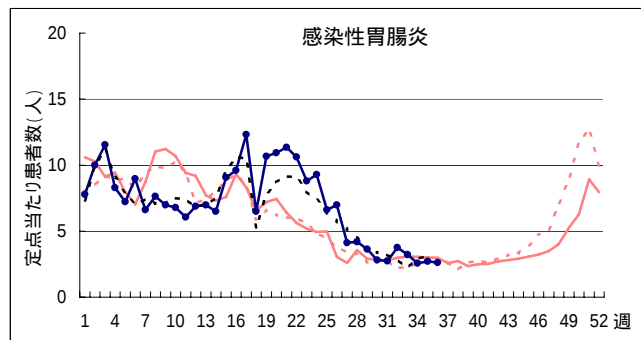
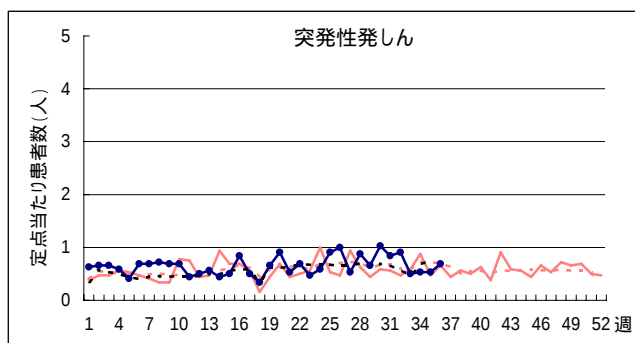
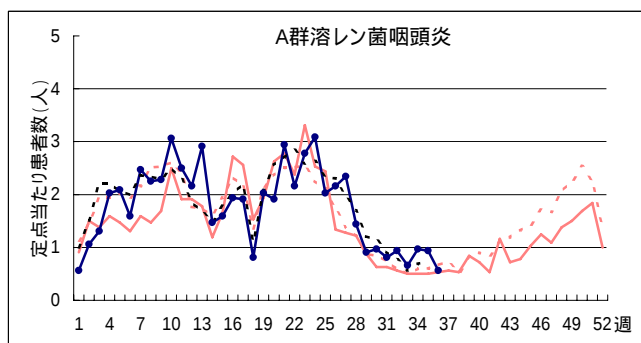
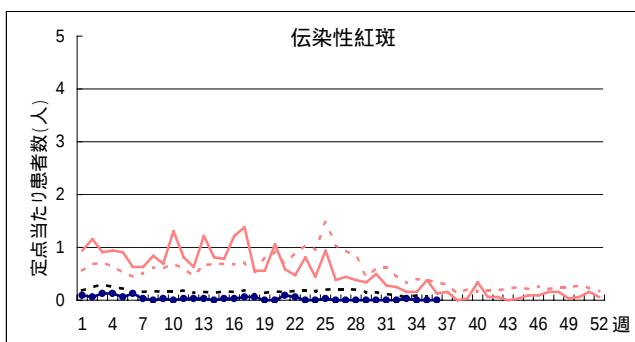
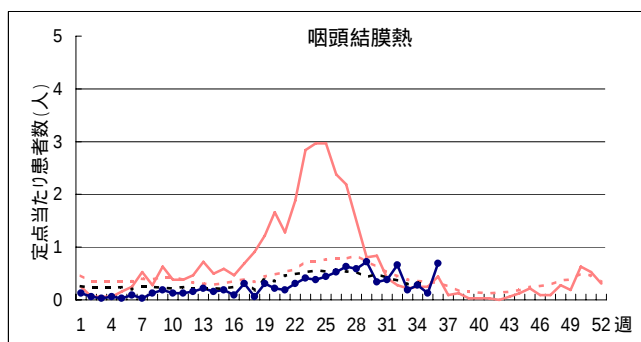
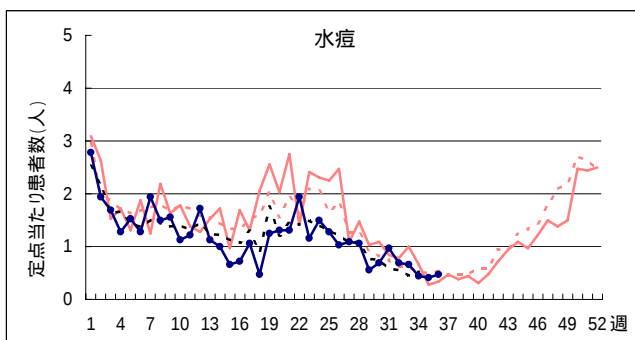
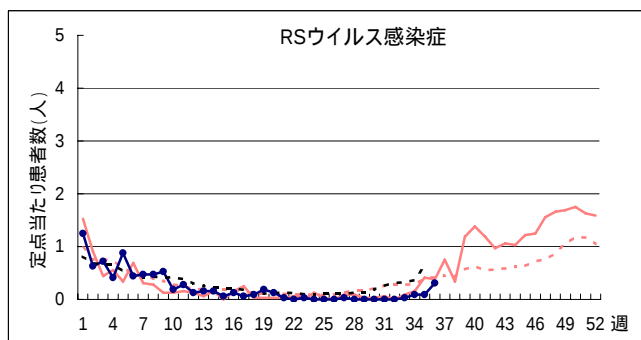
RSウイルス感染症の発生状況



疾病別定点当たり患者数(平成24年第36週、H24.1.2～H24.9.9)



H23 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)
H24 { 滋賀 (solid blue line)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第36週、H24.1.2～H24.9.9)

H23 〔 滋賀 ———— 全国 〕
H24 〔 滋賀 ●●●● 全国 〕

